

兵庫県水産技術センターだより

漁場環境情報（速報値）SG-GJ-3005号

2018.5.10 発行

【概況（2018年5月7、8日の調査結果）】

播磨灘の水温は平年に比べ、表層+0.2℃、10m層で+0.6℃、底層で+0.8℃となっており、表層は「平年並み」、10m層及び底層は「やや高め」の値です。塩分は全観測層で「やや低め」の値を示しています。透明度は「やや高め」の値となっています。表層の栄養塩濃度は、窒素は「やや低め」、リンは「平年並み」、ケイ酸は「かなり高め」となっています。

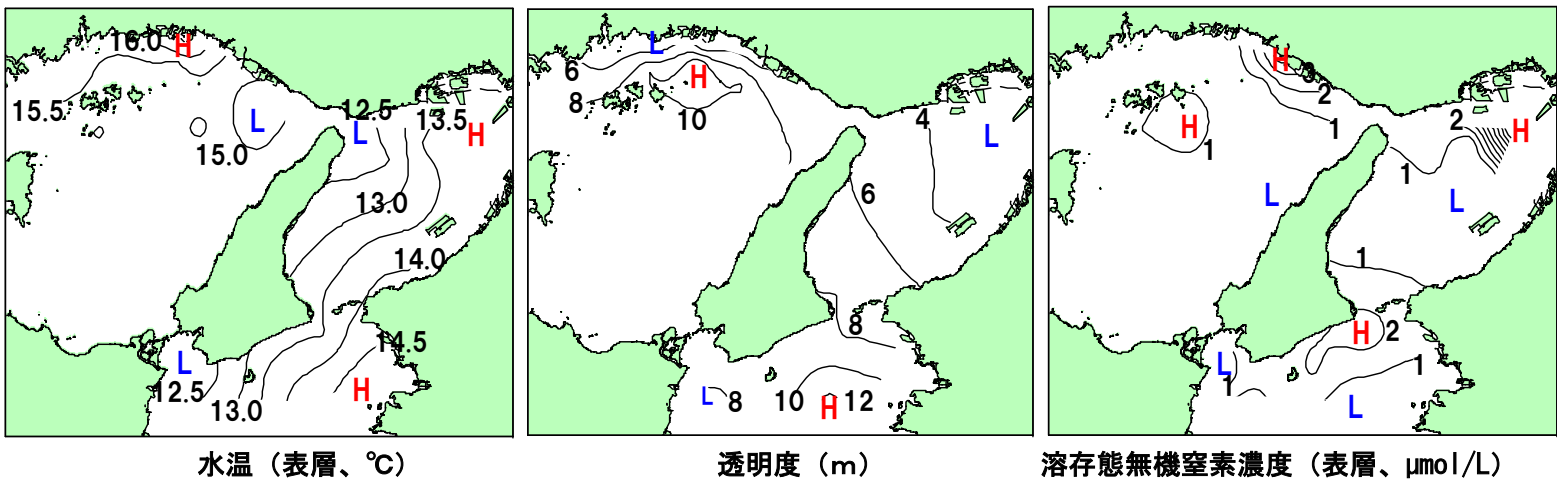
播磨灘の植物プランクトン発生状況は、北部沿岸や沖合の底層付近でシュードニッチアやリゾソレニア等の針状の珪藻類（羽状目）がやや多く出現しています。4月に発生していた貝毒原因プランクトンは、今回の調査では確認されませんでした。

2018年5月3日に大阪管区气象台が発表した近畿地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は高い確率が60%、降水量は多い確率が50%、日照時間は少ない確率が50%の見込みで、今後の表層水温は高めで推移すると考えられます。

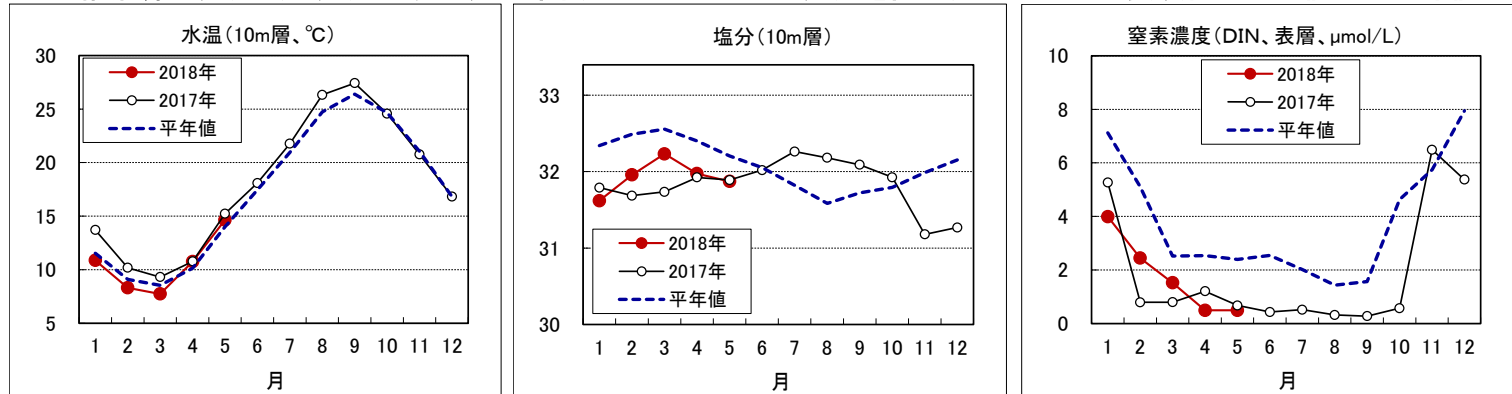
表層水温は高めで推移しています。播磨灘（兵庫県域）の貝毒発生に伴う二枚貝の採取規制は解除されました。



表層水温、透明度及び溶存態無機窒素（DIN）濃度の分布（大阪湾、紀伊水道は4/16,17の調査結果）



播磨灘15定点（19定点のうち、北部沿岸のH27～H30の4定点を除く）における主要項目の平均値及び平年値



年月項目	2017	2018	
	5月	1月	
水温 ℃	観測値	15.2	10.9
	平年値	14.0	11.5
塩分	観測値	31.89	31.62
	平年値	32.21	32.34
透明度 m	観測値	10.4	7.5
	平年値	7.9	7.1
窒素 μmol/L	観測値	0.7	4.0
	平年値	2.4	7.1
リン酸 μmol/L	観測値	0.17	0.51
	平年値	0.15	0.64
クロロフィルa μg/L	観測値	1.4	2.0
	平年値	2.2	1.7
降水量 姫路mm	観測値	46.0	36.0
	平年値	146.6	35.9

注) 何れの項目も15定点の平均値。水温、塩分は10m層、他の項目は表層水の値。各項目の平年値は1981～2010年の平均値。

降水量（姫路）の平年値は1981～2010年の平均値（気象庁データから） 次号は2018年6月5日頃発行の予定です。

お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター（担当：水産環境部・原田和弘、宮原一隆）

Tel : 078-941-8601 Fax : 078-941-8604 E-mail : Nouringc_suisan@pref.hyogo.lg.jp Homepage : http://www.hyogo-suigi.jp/